

## 編集後記

編集委員となって早や1年が過ぎました。毎月発行される学会誌の裏側には編集委員の方々の並々ならぬご苦労があることを知り、学会誌の見方も少し変わりました。そういった意識の変革の中で、今年1月からは「英文電子ジャーナル」が創刊となり、これまでの学会誌の内容も見直され、装い新たに皆様目の前に届くことになるでしょう。

さて、私事ですが、1980年にTVで放映されていたカールセーガンの「コスモス」が最近DVD化され、全7巻を購入しました。字幕スーパーは、実に7ヶ国語で訳され、世界中にこの番組のファンが多いことを伺わせられます。惑星天文学者であり作家でもあるカールセーガンが監修、出演したTV番組「コスモス」は、宇宙や生命の進化、未来社会への警鐘などをわかりやすく説明した番組で、当時高校生だった私は、夕方TVの前にクギ付けでした。日本で製作される科学番組は、あまり面白みのない学校向け(風)番組構成で、映画感覚で楽しめるようなものが少ないのに

対し「コスモス」は実に13話にわたり、夕方の民放で放送されていたのも一般の人でも楽しめる内容だったからでしょう。私は、NHKや民放などで「核融合開発」の番組を見た記憶がありません。以前、当学会で「太陽の火 - 核融合エネルギーを求めて -」という米国で作製されたものを日本語吹き替え版にしたビデオがありました。さすがに米国仕上げといった作りでしたが、政治色も感じられ今では内容も古くなってしまいました。しかし、話の展開や説明の仕方は非常に面白いものでした。

啓蒙書などの文字メディアへの貢献はもちろん必要ですが、若者の読書離れがすすむ中、多くの聴衆を引き付けるのは、映像メディアが実に効果的であると思います。昨年末、終了した「プロジェクトX」は団塊の世代に人気があったようですが、現代の若者の「理科嫌い」、「技術離れ」にどのくらい歯止めをかけられたのでしょうか。今後、新戦略的啓蒙活動としてお茶の間のゴールデンタイムにTV放映できるような日本版「新・太陽の火」は如何でしょうか？  
(服部邦彦)

### プラズマ・核融合学会役員

会 長	高村 秀一	副会長	山中 龍彦 藤原 正巳	常務理事	岡村 昇一 (総務委員長)
理 事	今井 剛 奥野 健二 佐藤浩之助 嶋山 力三 (企画委員長) 森 雅博		榎戸 武揚 (広報委員長) 尾崎 章 (財務委員長) 田中 和夫 (プログラム委員長) 堀岡 一彦 (広告委員長) 吉田 善章 (編集委員長) 藤山 寛		岡野 邦彦 (出版委員長) 際本 泰士 二宮 博正 松岡 啓介
監 事	長谷川 満				

### プラズマ・核融合学会誌編集委員会

編集委員長・チーフエディター 吉田善章 (東大新領域)

エディター 関子秀樹 (九大), 関 昌弘 (原子力機構), 田中雅慶 (核融合研), 西村博明 (阪大), 福山 淳 (京大), 藤山 寛 (長崎大)  
編集委員 荒巻光利 (名大), 飯塚 哲 (東北大), 岩尾 徹 (武蔵工大), 岩切宏友 (九大応力研), 岩前 敦 (京大院工), 上田良夫 (阪大院工), 江角直道 (長野高専), 片沼伊佐夫 (筑波大プラズマ), 門 信一郎 (東大高温プラズマ), 菅野龍太郎 (核融合研), 近藤公伯 (阪大院工), 榊田 創 (産総研), 重森啓介 (阪大レーザー研), 篠原俊二郎 (九大院総理工), 鈴木 哲 (原子力機構), 妹尾和威 (核融合研), 高杉恵一 (日大量科研), 高橋栄一 (産総研), 永岡賢一 (核融合研), 服部邦彦 (東北大院工), 林 康明 (京都工繊大), 檜垣浩之 (筑波大プラズマ), 増崎 貴 (核融合研), 南 貴司 (核融合研), 山内有二 (北大院工), 山本 靖 (京大エネ理工研), 山本 巧 (原子力機構)

乱丁・落丁本は、ご面倒ですが学会編集委員会宛ご送付ください。送料当方負担にてお取り替えいたします。

### プラズマ・核融合学会誌第82巻第2号

編集・発行

〒464-0075 名古屋市千種区内山3丁目1-1 4階

社団法人 プラズマ・核融合学会 編集委員会

Tel. 052-735-3185 Fax. 052-735-3485

E-mail: plasma@jspf.or.jp

URL: <http://www.jspf.or.jp/> 定価1,365円(本体1,300円)

印刷 株式会社荒川印刷

2006年(平成18年)2月25日

本誌に掲載された寄稿等の著作権は(社)プラズマ・核融合学会が所有しています。

編集委員会開催日について 当学会誌の編集委員会は原則として、毎月、第1金曜日に開かれています。但し、第1金曜日が休日あるいは5日以降の場合はその前週の金曜日に開かれます。